

緩和ケア新聞



令和3年2月

飛騨市民病院では、平成18年に緩和ケアチームを発足、翌年には緩和ケア外来を開設して、住み慣れた地域で安心して最期まで人生を全うするためのサポート体制を整えています。



暖かい癒やしの空間が完成!!

入院中の療養生活をよりよい環境で送っていただけるように、このたび飛騨市民病院を守る会様にご協力を賜り、2階デイルームの改修を行いました。飛騨の匠の技が凝縮された優しい風合いの家具に包まれて、**ゆったりとお寛ぎいただける空間**となりました。



もしものときのために～人生会議してみませんか?～

あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか?私たちは、いつでも命に関わるような大きな病気や怪我をして命の危険が迫った状態になる可能性があります。命の危険が迫った状態になると**約4分の3の方が**これからの治療やケアなどについて**自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなる**と言われています。

“**人生会議**”とは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたりあなたの**信頼する人たちと話し合う**ことを言います。あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれませんが。しかし自分の気持ちを話せなくなったときには、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、ご家族やご友人の心の負担は軽くなることでしょう。

<緩和ケア外来>

毎週火曜日
診療時間15:00～17:00
受付時間16:30まで
問い合わせ先：
TEL.0578-82-1150(代)

<主な相談内容>

- ☆ 痛み、だるさ、息苦しさなどの変調について
- ☆ 病気になったことで起きる様々な心配ごと
- ☆ 病気のことを知る怖さや不安について
- ☆ 在宅療養の支援について
- ☆ 家族が持っている悩みについて 等

人生会議は5つのステップを踏むことで簡単に分かりやすくすすめることができます。

第3ステップ 主治医に質問してみましょう



あなたはご自身の病名や病状を知っていますか？

はい いいえ

これからの治療やケアについて考えるためには病状を知っている必要があります。あなたはご自身の病名や病状、これからの予測される経過や、受けるであろう具体的な治療やケアについて医師から説明を受けることができます。

患者は主治医から、治療やケアについて以下のようなことを聞くことができます。

- ・治療やケアの利益(メリット)
- ・治療やケアの不利益(デメリット、リスク)
- ・他の治療やケアの方法
- ・病気の予想される経過
- ・治療やケアによって生活にどんな影響があるか
- ・治ることが難しい場合、その理由や予想される余命

あなたは、病気の予想される経過や余命を知りたいですか？

知りたい 知りたくない 分からない その他

上記のように考えた理由を書いてみましょう

※本内容は、連載企画です。今後の掲載予定は以下の通りです。既刊分をご覧になりたい方は飛騨市民病院にバックナンバーがあります。うまく活用しましょう。

42号 2019/8 :人生会議とは 人生会議のすすめ方(流れ)

43号 2020/2 :第1ステップ 考えてみましょう

44号 2020/8 :第2ステップ 信頼できる人が誰か考えてみましょう

45号(本号) 2021/2:第3ステップ 主治医に質問してみましょう

46号 2021/8 :第4ステップ 話し合いましょう

47号 2022/2 :第5ステップ 伝えましょう

48号 2022/8 :やってみよう人生会議

【厚生労働省ホームページ 資料より一部改変】

発行 飛騨市民病院 緩和ケアチーム

